

YASHICA

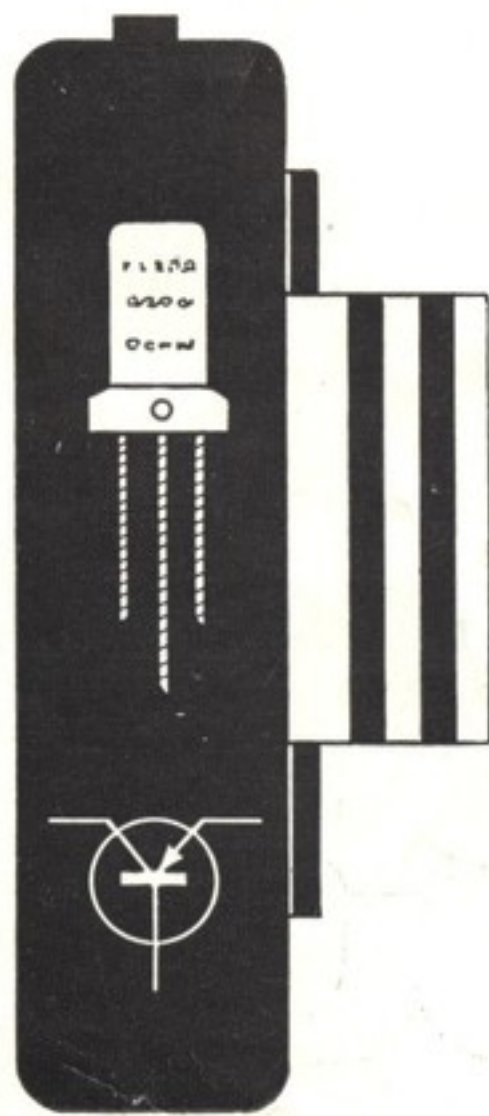
Electro 35

電子シャッター

ヤシカエレクトロ35の使い方

35

エレクトロ35・電子シャッターカメラ

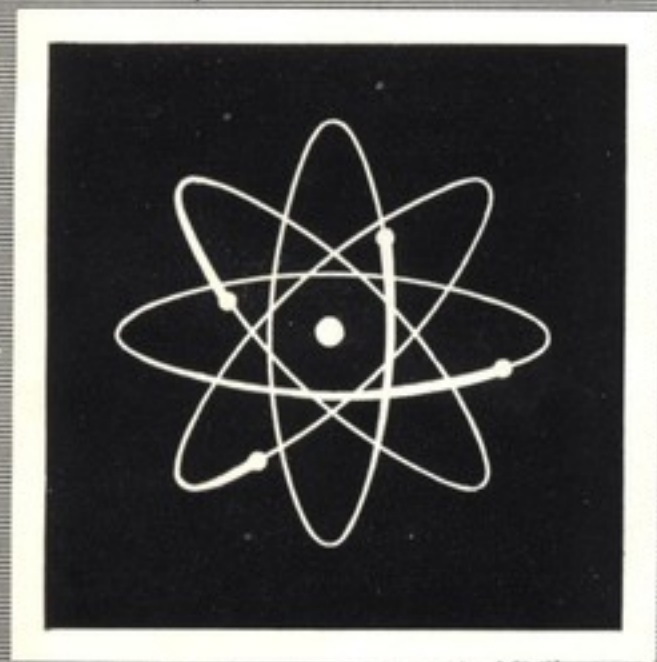


★トランジスター使用の電子シャッターカメラで
すから露出も電氣的にOK!

★新設計の 赤・黄・緑 3色のマジックランプが
内蔵されて、警告表示もOK!

★大口径F1.7の優れたヤシノン・デラックス・レ
ンズでカラー撮影もOK!

★フィルムの入れ方は、ヤシカイージーローディ
ングシステムで簡単にOK!



基本的な使い方!

高度な電子計算機を内蔵したカメラですから、だれにでも頭を使うことなく正しい撮影ができます。

そのため、正しい基本操作をまず覚えてください。

各部の名称

露出チェックランプ

(マジックランプ)

A S A 感度表示盤

フィルム巻上げ

レバー

シャッターボタン

ロックリング

C d S 受光部

アクセサリシュー

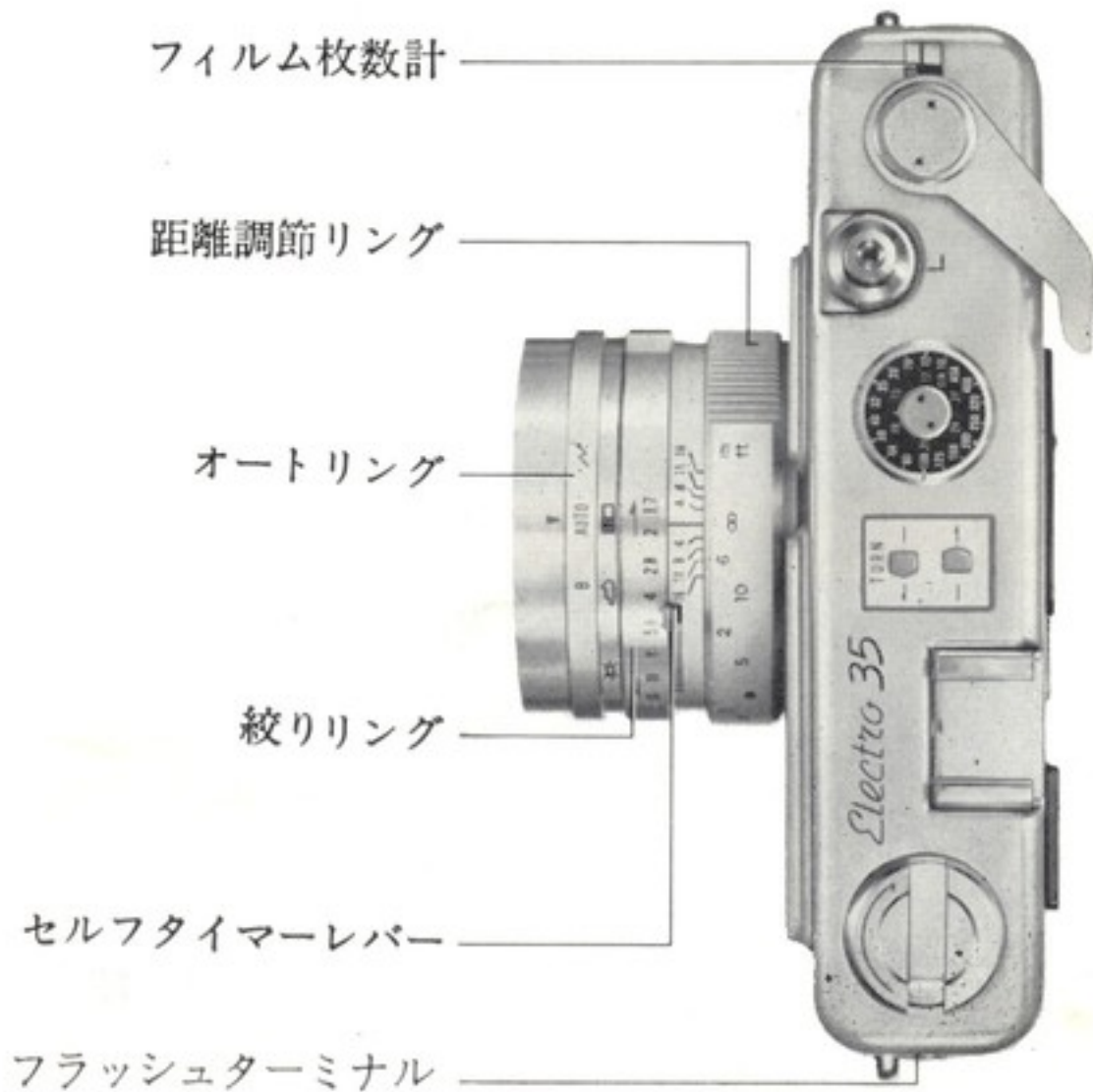
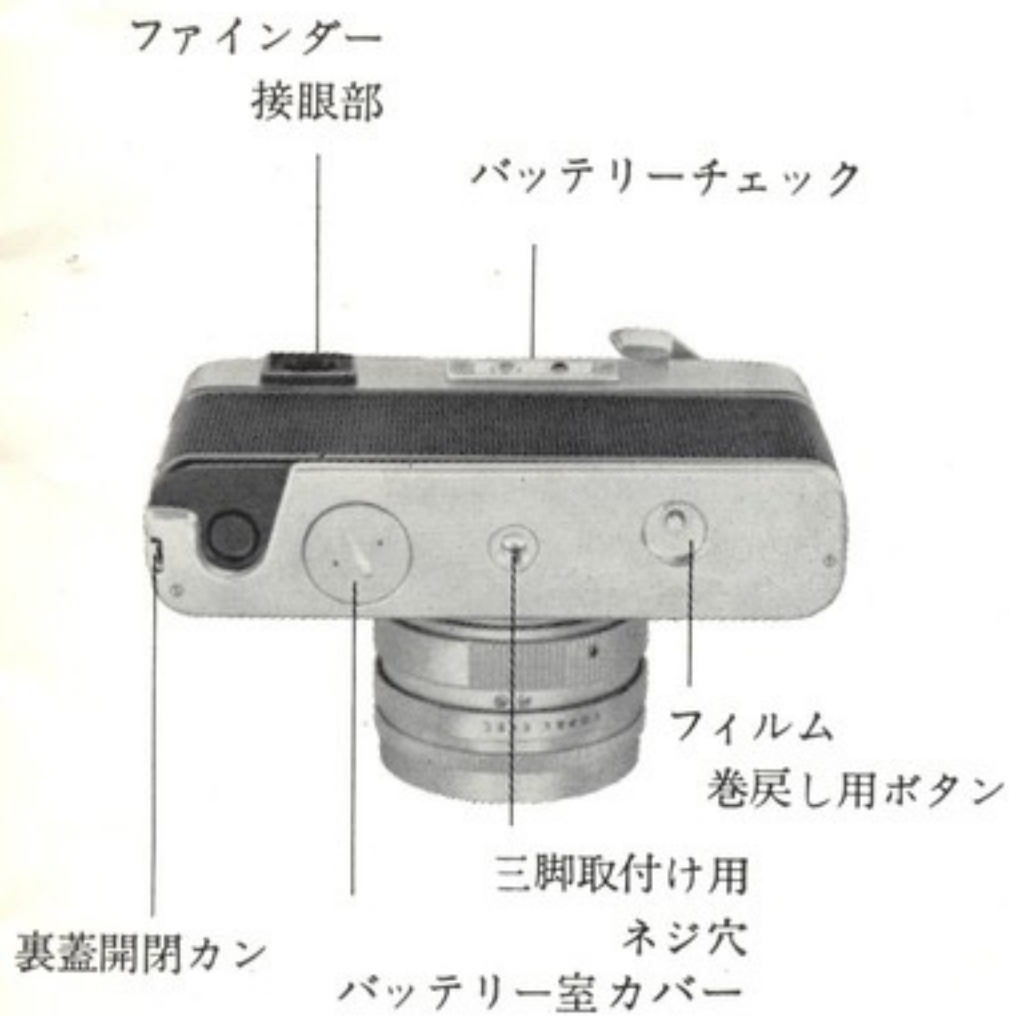
フィルム

巻戻しノブ

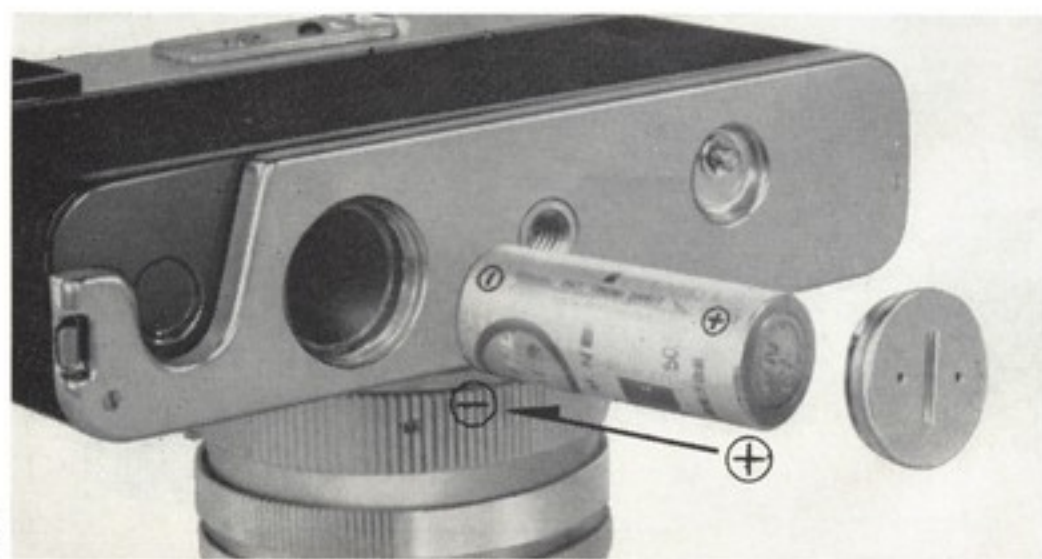
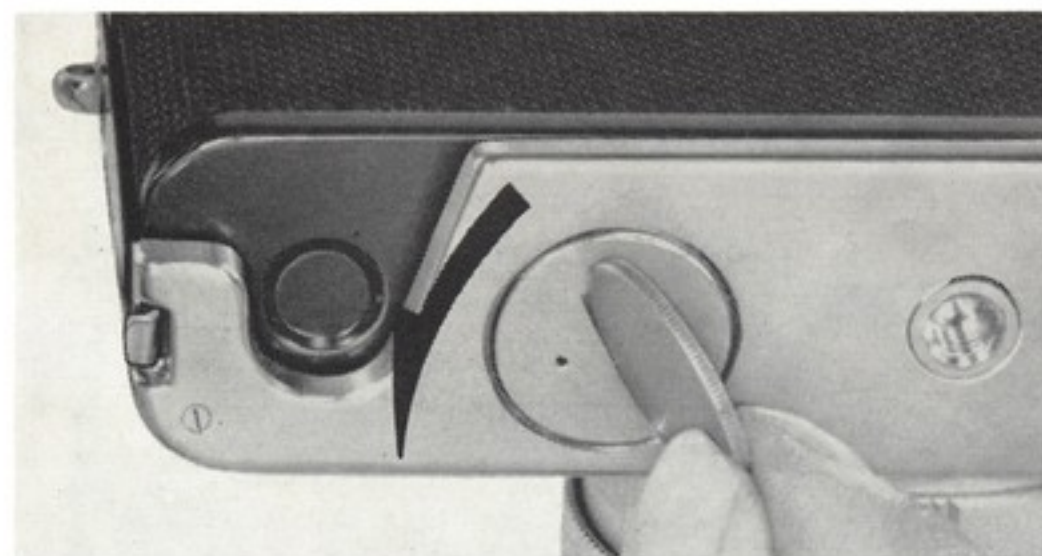
ファインダー

撮影レンズ





水銀電池を正しく入れてください



5

電源には、水銀電池5.6V(ナショナルKM-4N-S)を使用してください。

1 硬貨等で、バッテリー室カバーを矢印方向に回してはずします。

2 水銀電池を入れます。このとき電極の⊖を先にして図解どおりに入れてください。

⊕と⊖の入れ方を間違えると、ランプはつきませんがシャッターは正しく作動しませんから注意してください。

入れ終わったらカバーを止まるまでネジ込みます。水銀電池とカメラの使用方の説明は、29頁を参照してください。

バッテリーチェックの使い方



グリーンランプがつけば
電池OK



ランプがつかないときは
電池交換



電池が規定の電圧を保っていないと、正しい露出が得られませんから、撮影前に必ずバッテリーチェックをしてください。

《注意》バッテリーチェックボタンは、充分に押しチェックしてください。

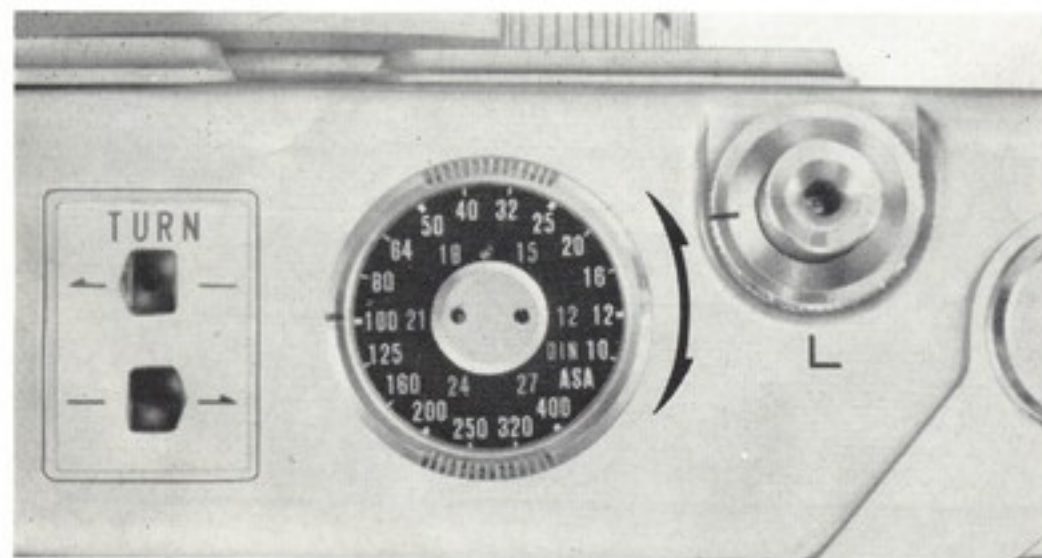
〈電池があるとき〉

バッテリーチェックボタンを押して、グリーンランプがつけばOKです。

〈電池がないとき〉

バッテリーチェックボタンを押して、ランプがつかないときは、電池が消耗しているときですから、すぐ新しい電池と交換してください。

露出はこのようにして決めます(1)



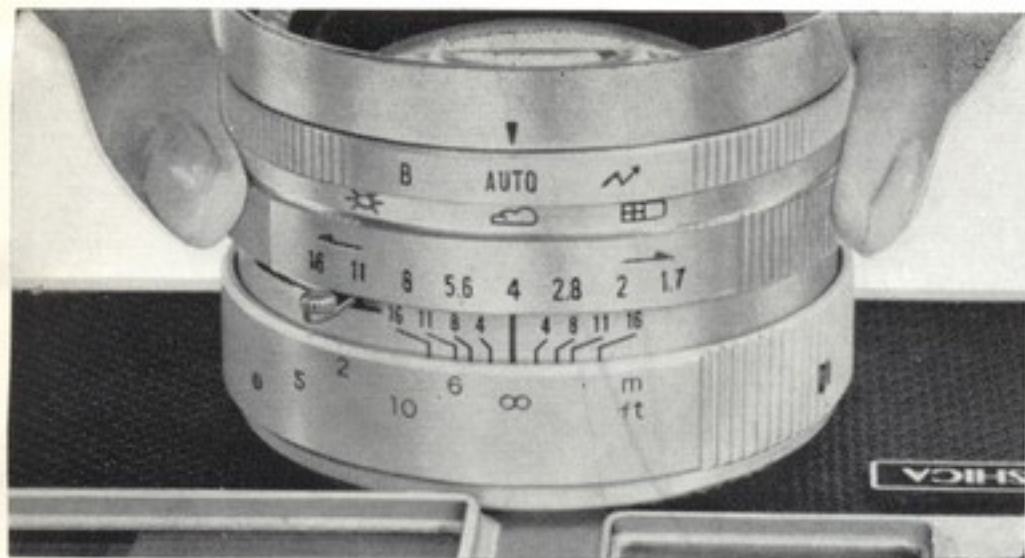
1 フィルム感度を合わせる
ASA感度表示盤のリングを指先で回し、
使用フィルムのASA感度数に、**一印(赤)**を合
わせます。

これを忘れると、正しい露出が得られません。



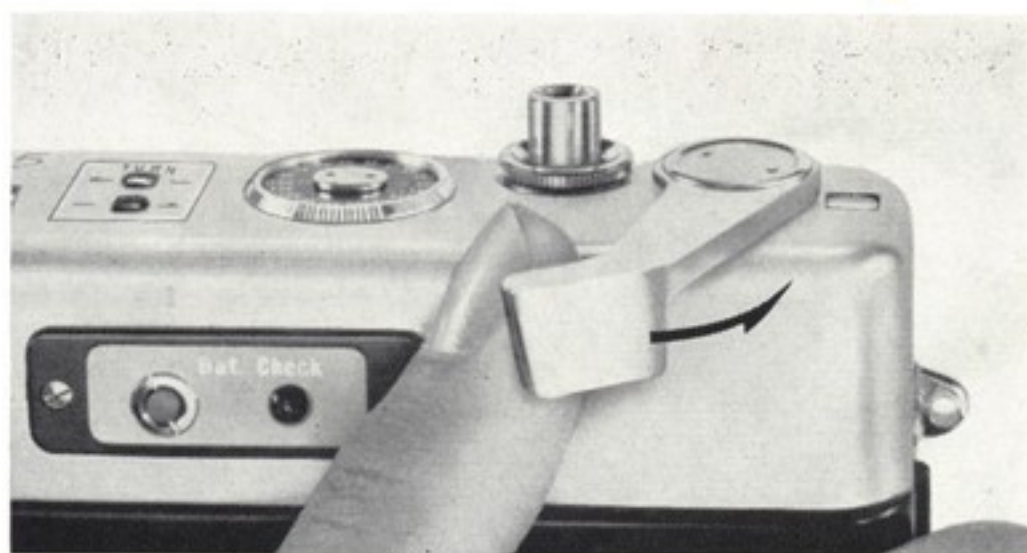
2 オートリングをAUTOに合わせる
オートリングを回してAUTOを**▼印**に合
わせてください。

これによってEE機構が作動します。



3 ライトマークを合わせる
絞リングを回し、ライトマークを赤の1
印に合わせます。(絞り目盛と連動しています)

マーク	天候条件	絞り(F)
☉	直射日光下の屋外撮影の場合	16・11・8
☁	曇天、もしくは日蔭の場合	5.6・4・2.8
☑	室内撮影をする場合	2・1.7



4 フィルム巻上げレバーを巻くと、音がして
スイッチされ、露出を計れる状態になりま
す。

必ず、巻上げレバーを巻いてください。

露出はこのようにして決めます(2)



- 5** ●ファインダーを覗きながら、シャッターボタンを軽く押します。
- ファインダー内の露出チェックランプが、黄も赤もつかなければ、正しい露出のときです。
- そのままシャッターボタンを押せば、EE撮影ができます。
- (チェックランプはボディ上部のを利用して結構です)

◎普通の屋外撮影では、ライトマーク (≧○≦ ☁ 田□) を合わせておけば、露出チェックランプを気にせずE E撮影ができます。

しかし暗いところ・非常に明るいところ (雪景・海岸等) では、ねんのため露出チェックをしてください。

●シャッターボタンを軽く押し……

赤のランプがつけば

明るすぎたときの警告です

黄のランプがつけば

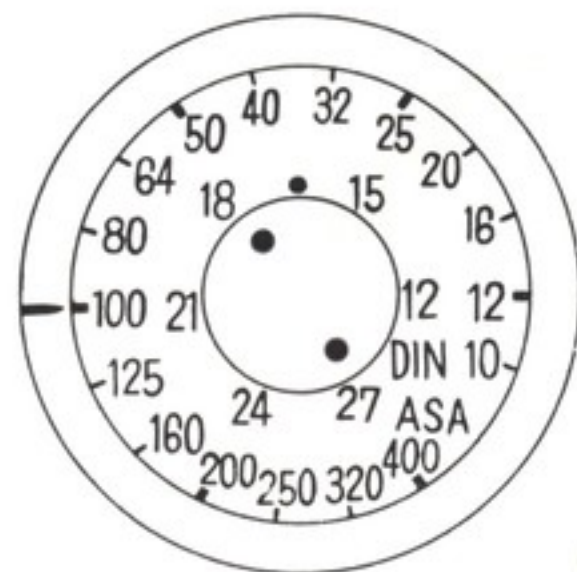
スローシャッターで

切れる表示です

☆ASA感度とは、フィルム感光度のことで、フィルムの外箱にASAいくつと印刷されていたり、説明書の露光指数の項に必ず書いてあります。

ASA目盛

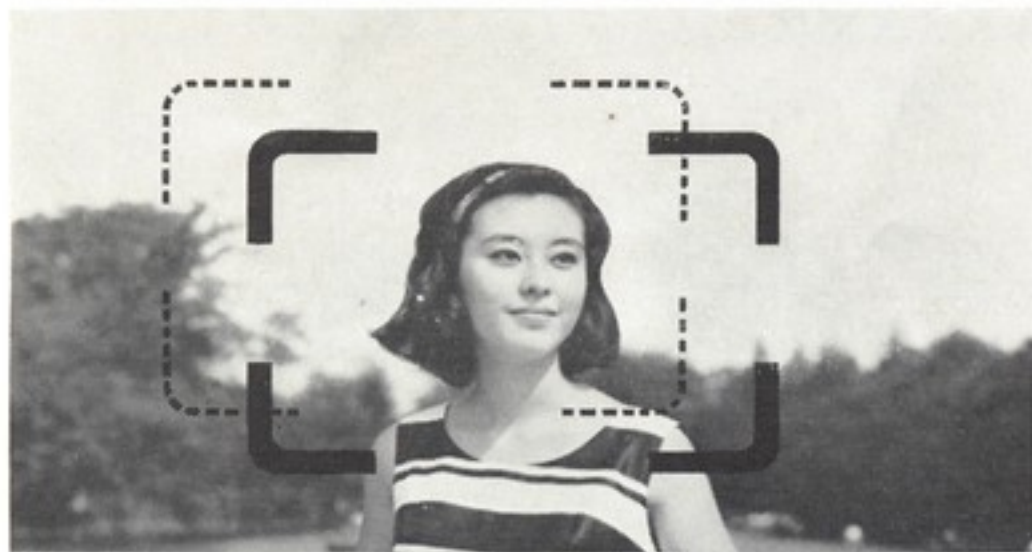
(DIN目盛)



赤・黄のマジックランプの詳しい使い方は

19~20頁を見てください。

ファインダーとピントの合わせかた



ファインダーを覗くと、ブライトフレーム（光像枠）が見えます。このフレームの内が実際に写る画面になります。

パララックス（視差）自動匡正装置がついており、距離に応じてフレームが動きます。近接撮影でも視差を気にする必要はありません。



ピントを合わせるときは、ファインダー中央の四角の内を正しく覗いてください。

ピント調節は、距離調節リングを回して、中央部に見える四角の二重像を合わせてください。

○



◎ピントが合ったとき

左のように、四角の中で像がひとつに見えれば
ピントが合ったときです。

ピントは、写したいものの中心に合わせてくだ
さい。

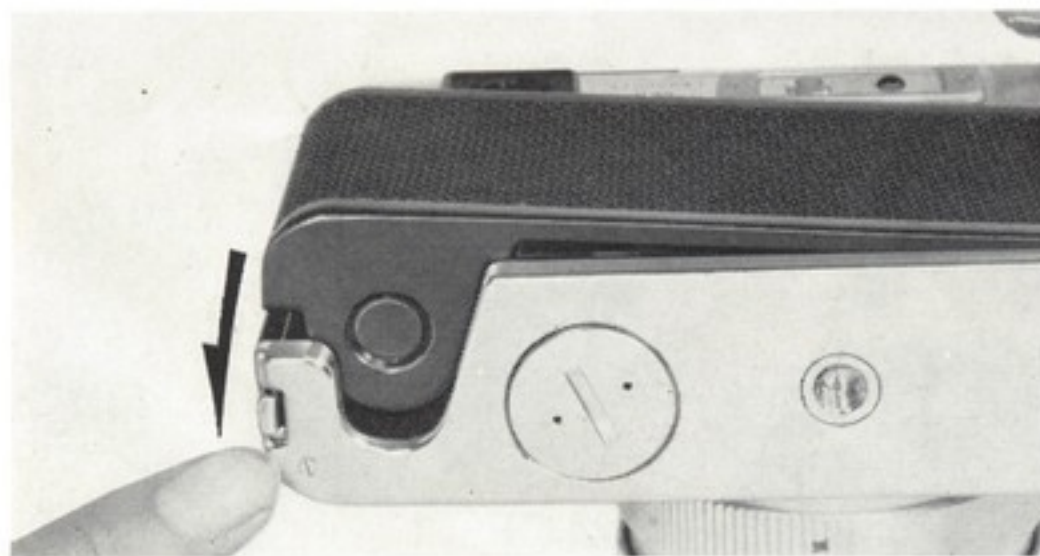
X



◎ピントが合わないとき

左のように、四角の中で像がずれて見えるとき
は、ピントが合っていないときです。

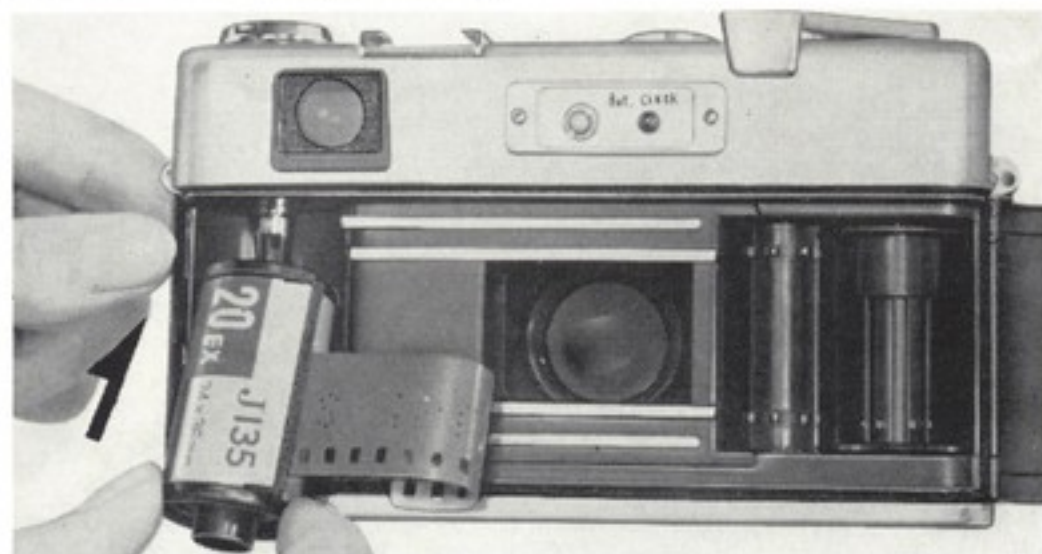
カメラの使い方を覚えたら、フィルムを入れましょう



- 1** 底部の裏蓋開閉カンを、指先で下に引くと自動的に裏蓋が開きます。

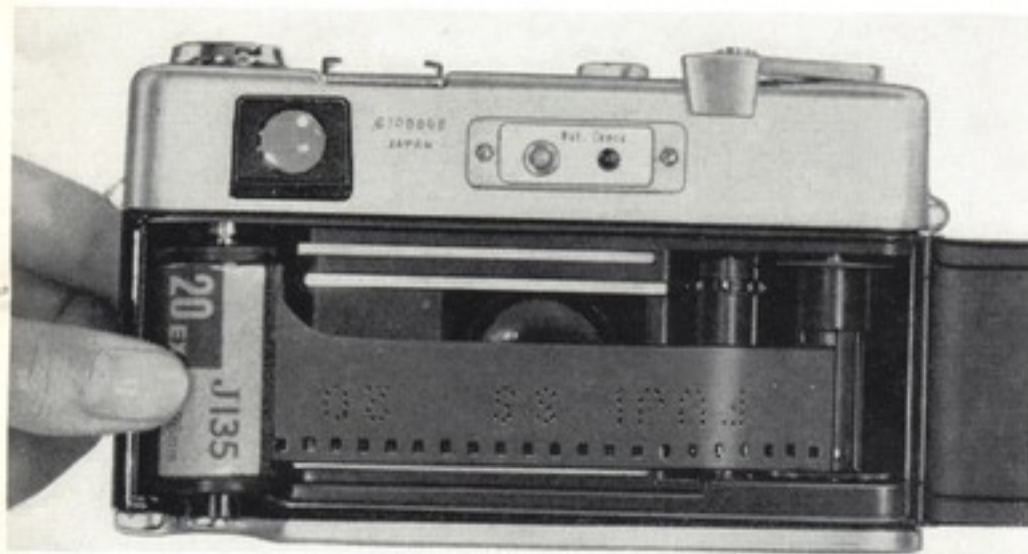
《注意》フィルム枚数計は、自動復元式ですから裏蓋を開くと自動的にSに戻ります。

フィルムは、市販されている普通のパトローネ入り35ミリフィルムを使用してください。

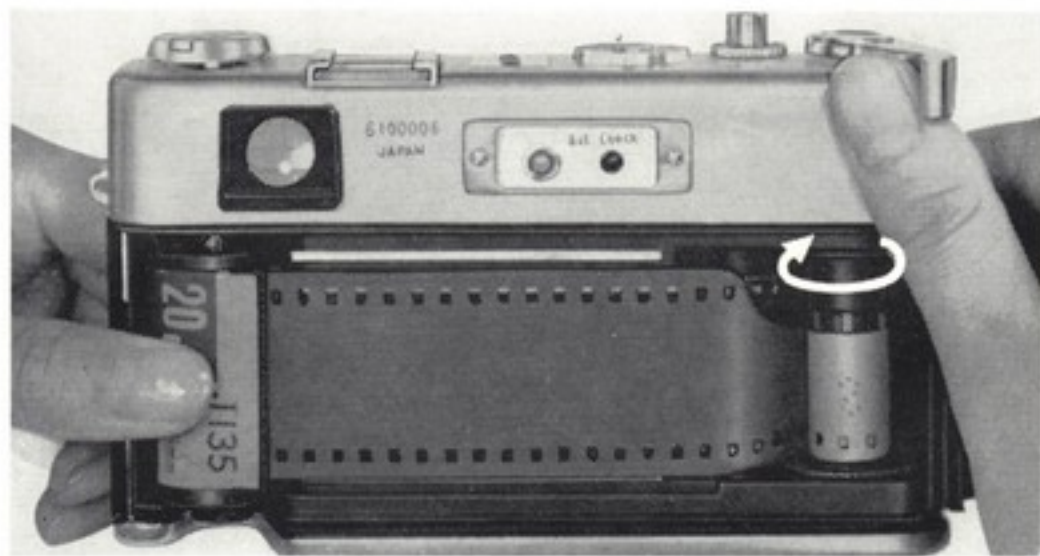


- 2** 裏蓋をあけたら、下の方からさしこむようにして、パトローネをしっかりと入れてください。

☆フィルムの入れ方が簡単になったヤシカイージーローディング方式

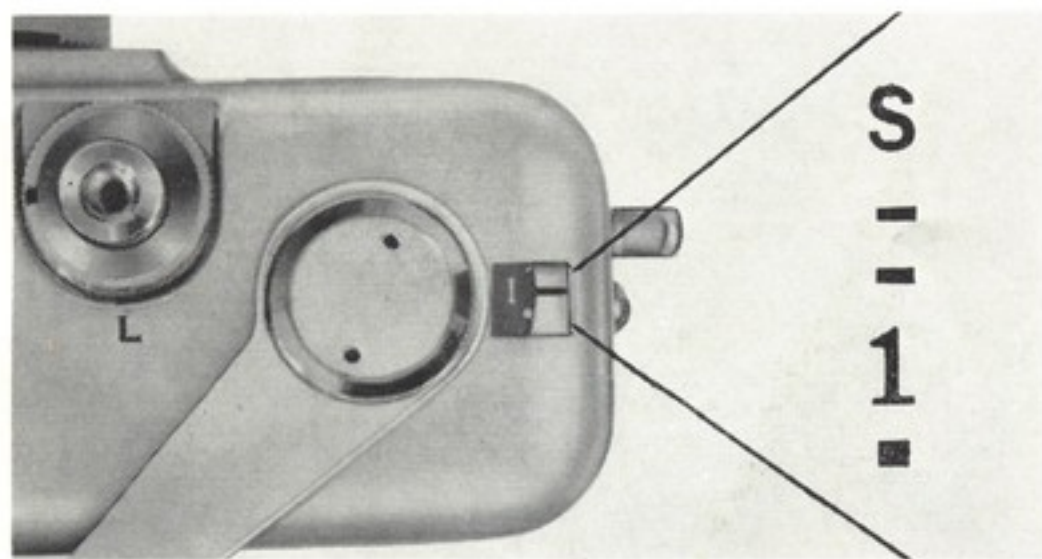


- 3** フィルムを引きだし、巻取りスプールの溝にフィルムの先を差し込みます。
どこでも入れやすい溝に差し込んで結構です。



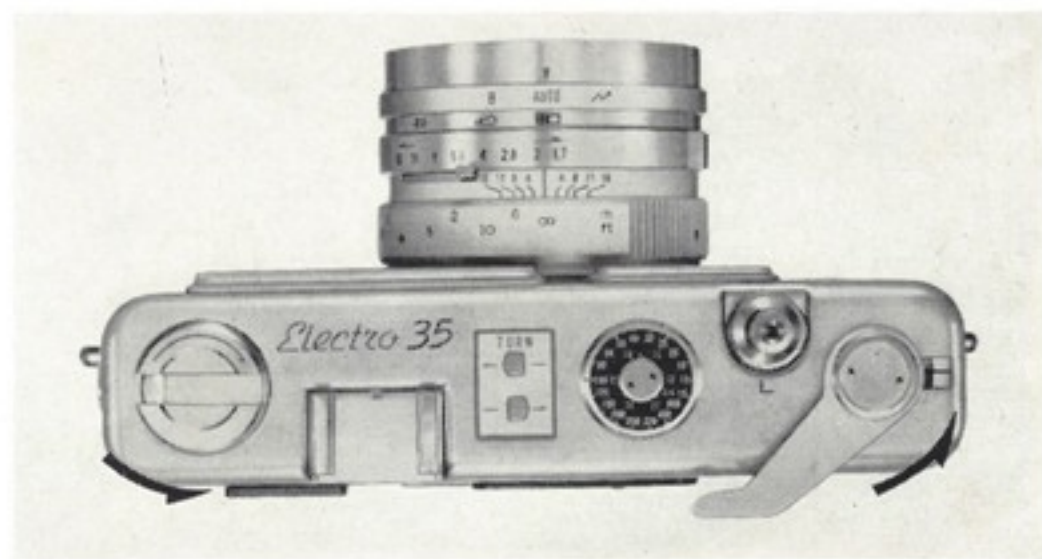
- 4** 巻上げレバーを回して、フィルムのパーフォーレーションが上下のスプロケットの歯に正しくかみ合ったのを確認して、裏蓋を閉めてください。

フィルムを入れるときは、直射日光下をさけ日蔭などの薄暗いところで入れてください。



5 フィルム枚数計にS（スタート）がでていますから、1がでるまでフィルム巻上げレバーを巻き空写しをします。

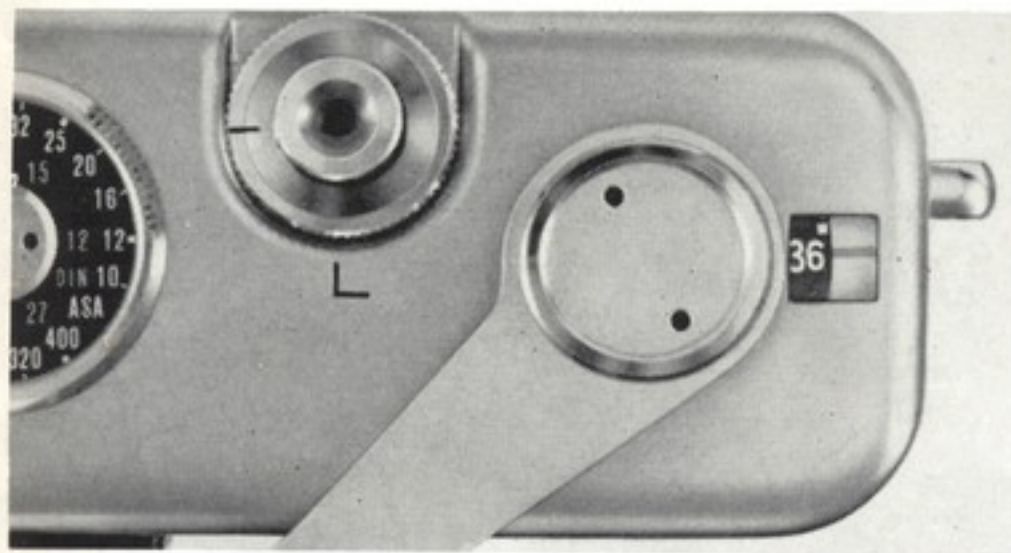
あとは、撮影した枚数が自動的に表示されます。



★撮影の途中でフィルムが送られているのを確かめるには

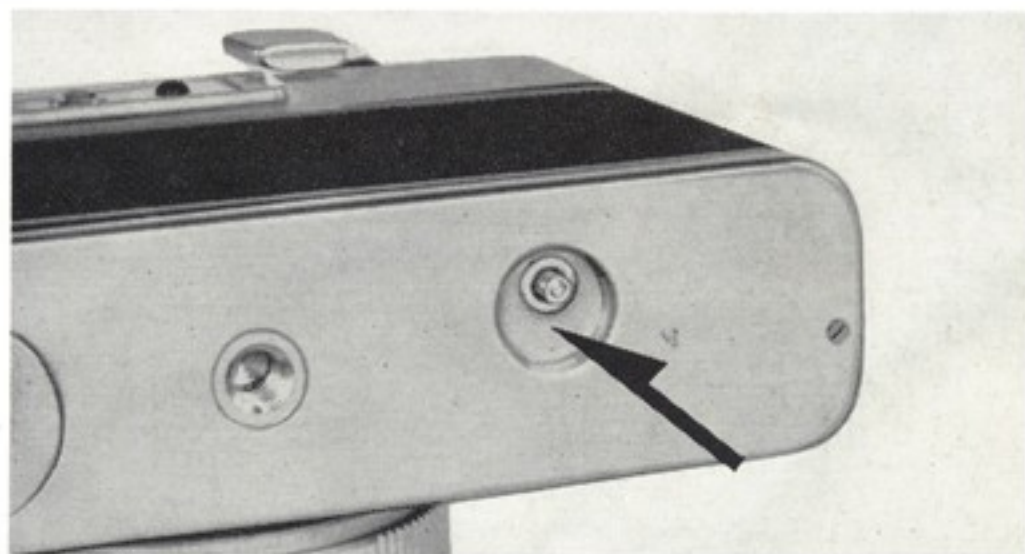
- ◎ 巻上げレバーを巻いたとき、巻戻しノブが回れば、フィルムが正しく送られています。
- ◎ フィルム巻上げレバーは、必ず止まるまで回してください。

撮影が終ったとき(フィルムを巻戻します)



1 フィルム枚数計が36 (または20) の数字になるとフィルムが終ったしるしです。

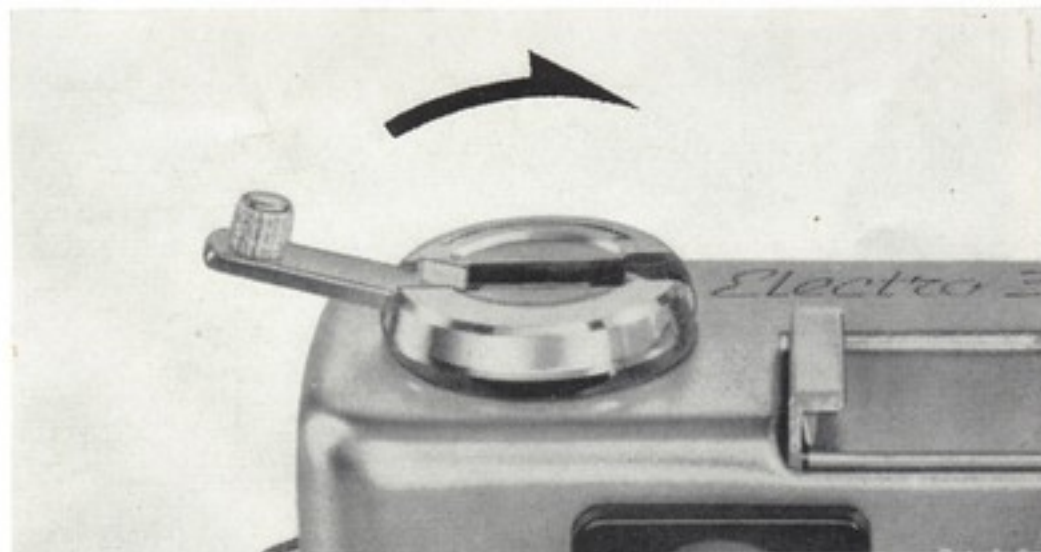
《注意》フィルムが終ったとき、無理に巻上げると、フィルムが切れたりパトローネからはずれて巻戻しができなくなります。



2 カメラ底部のフィルム巻戻し用ボタンを押します。

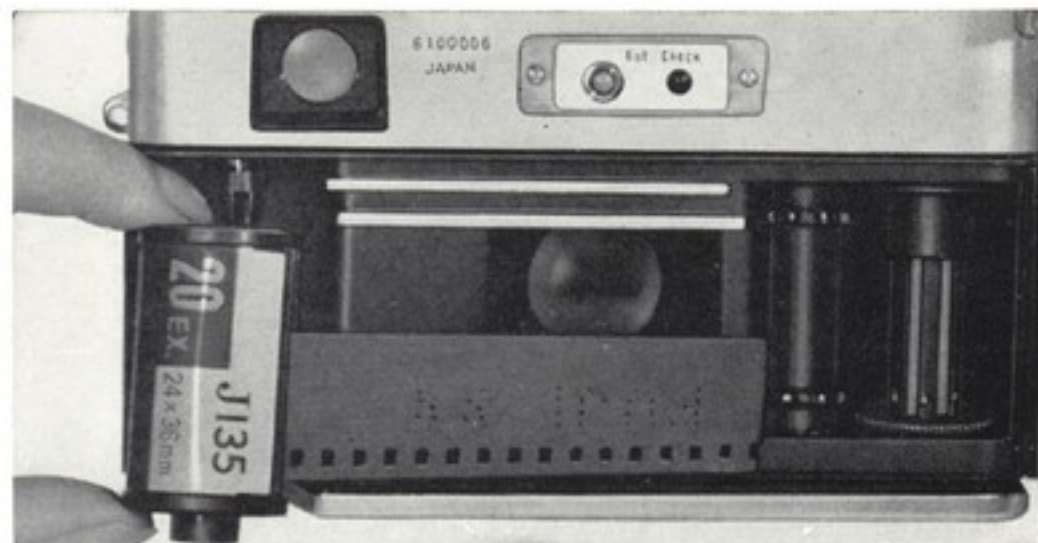
ボタンは自動解除方式ですから、巻戻し中は手で押している必要はありません。巻上げレバーを巻きあげると、自動的にボタンがでて巻上げ可能の状態に戻ります。

☆必ずフィルムを巻戻してから、カメラより取りだします。

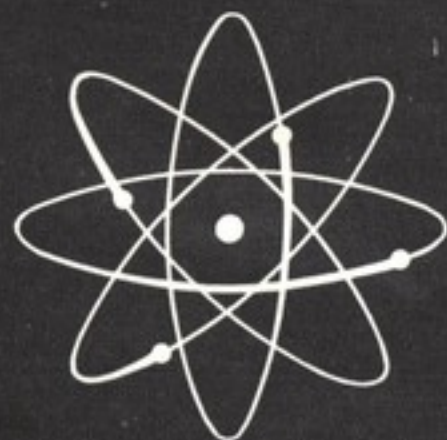


3 巻戻しノブのクランクを起して、矢印方向に回します。

フィルムがスプールからはずれるときに、ちょっと抵抗を感じますが、そのまま巻きつづけてください。



4 抵抗感がなくなったら裏蓋をあけ、パトローネを取りだします。



テクニカルコース

基本的な操作を覚えたら、応用編に移りましょう。

より、くわしい操作を知りたい方は、これからの頁をお読みください。

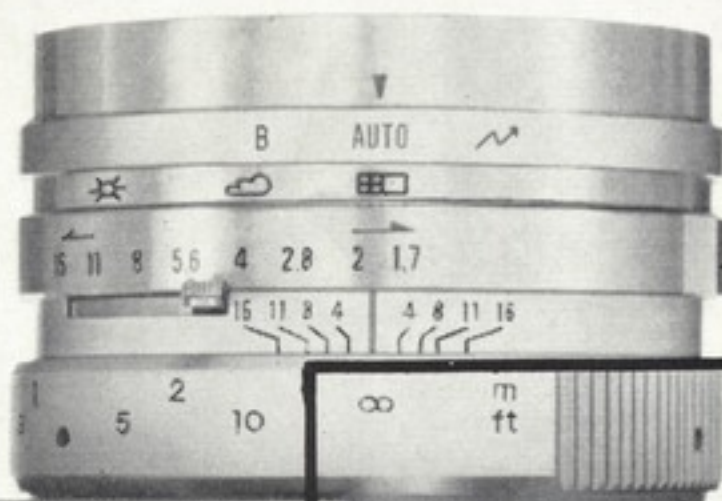
露出チェックランプのじょうずな利用方法)



赤 黄



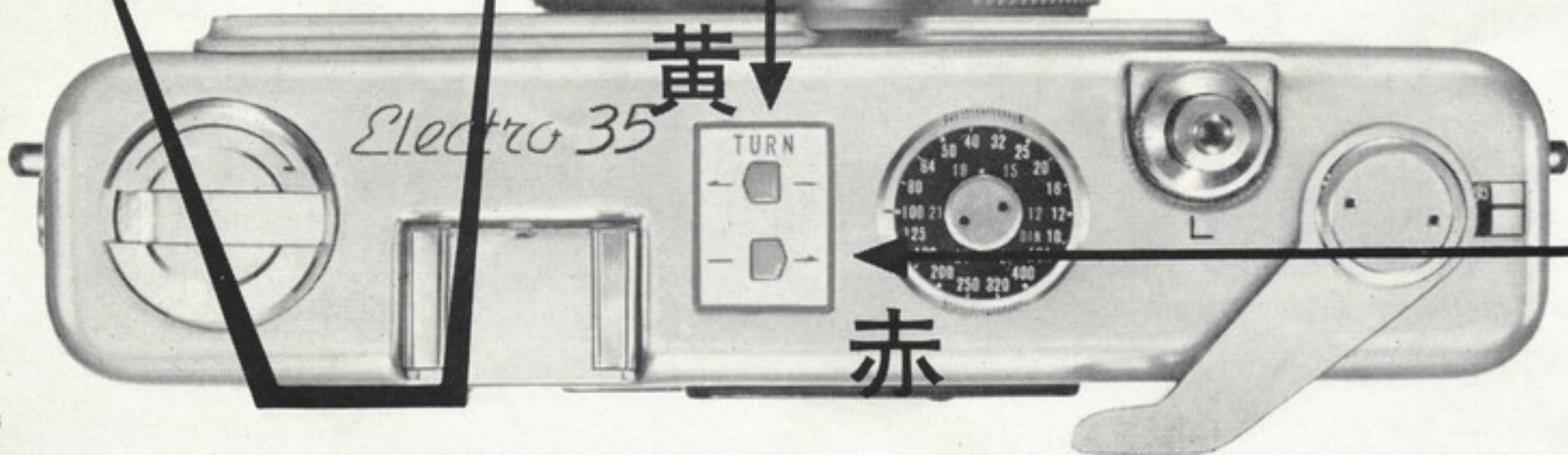
ファインダー内



絞りリング

黄

赤

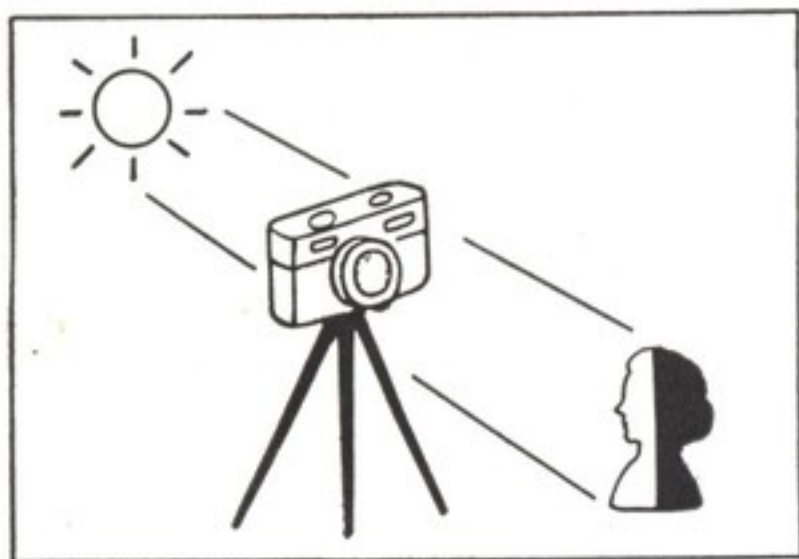


●露出チェックランプは、ファインダー内とボディ上部とが連動していますから、どちらを使用してもよいのです。

●赤と黄のランプがつかないときは、正しい露出を表わします。

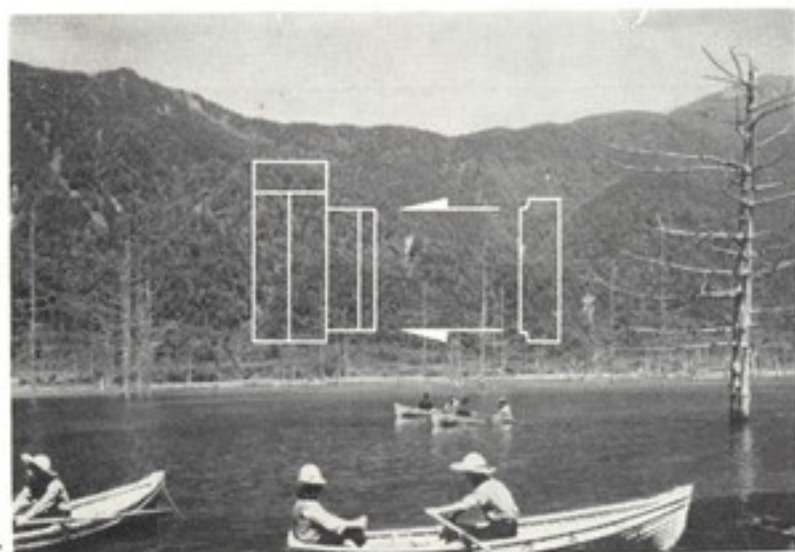
ランプ表示	そのときは、このようにして撮影してください
黄色ランプは スローシャッター表示です。	<p>◎絞りリングを黄矢印方向に回し、ランプが消えれば、手持ち撮影が可能な範囲になったことを示します。</p> <p>◎黄ランプがつくのは、スローシャッターで切れることを表示するのですから、黄ランプがついていても、三脚が適当な台を利用しカメラを固定すれば適正露出で長時間露出の撮影ができます。なお、必要があればフラッシュ撮影に切替えてください。</p>
赤色ランプは 明るすぎの (露出オーバー) 警告です。	<p>◎絞りリングを赤矢印方向に、ランプが消えるまで回してください。ランプが消えれば適正露出内に入ったことを示します。</p> <p>◎絞りリングをいくら回してもランプが消えないときは、NDフィルター4倍(光量制限用)をかけて、ASA感度を$\frac{1}{4}$に切替えてください。(ASA100のときならASA25に合わせることです。)</p>

より美しい写真をとるためにお読みください



◀ カラー写真は順光線で写しましょう

撮影者が太陽等の光を背にして、撮影するのが順光線撮影といい、写すものに光が平均にあたりいつも美しい写真が撮れます。特にカラー撮影の場合は、色のバランスからも順光線撮影をおすすめします。

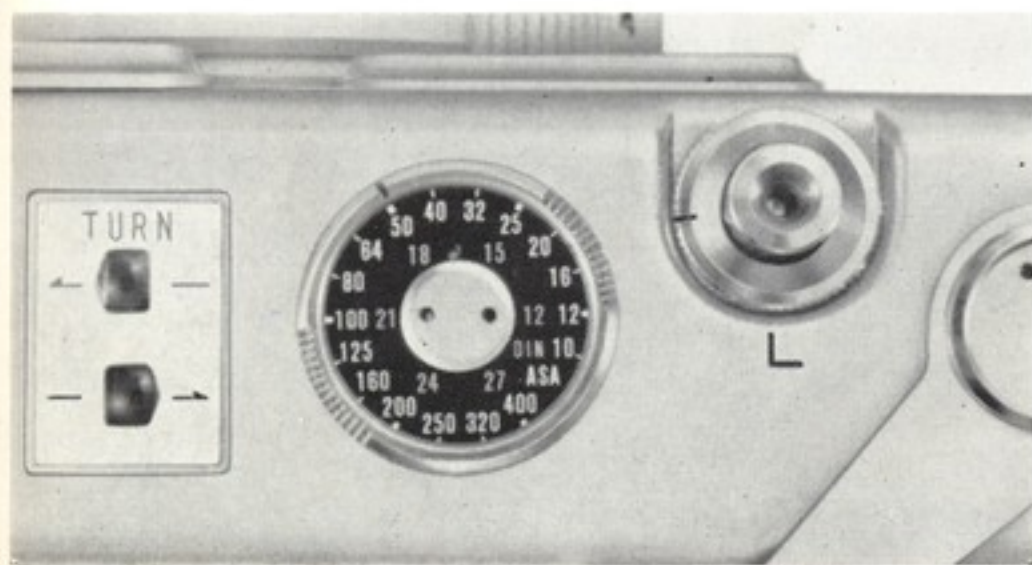


◀ 画面に空が入るときはフードを使いましょう

画面に空が多く入るようなときは、山・海岸・雪景などフードを使用すれば、反射光線などがカットされ、よい写真がとれます。



- ◎フィルターを使用したときは、フィルターに表示されている露出倍数(Y₂なら2倍)だけ露出を変えなければなりません。



- ◎エレクトロ35では、この調節をASA感度表示盤で行なうことができます。

〔例〕いま、Y₂フィルターを使うとしたら、フィルター倍率が2倍ですからASA 100のフィルムを使用していたらASA 50に合わせます。

※これはフィルターをかけたときのみ使用するものですから、撮影が終わったら、あとは必ずもとのASA感度に戻してください。

B (バルブ) 撮影とは



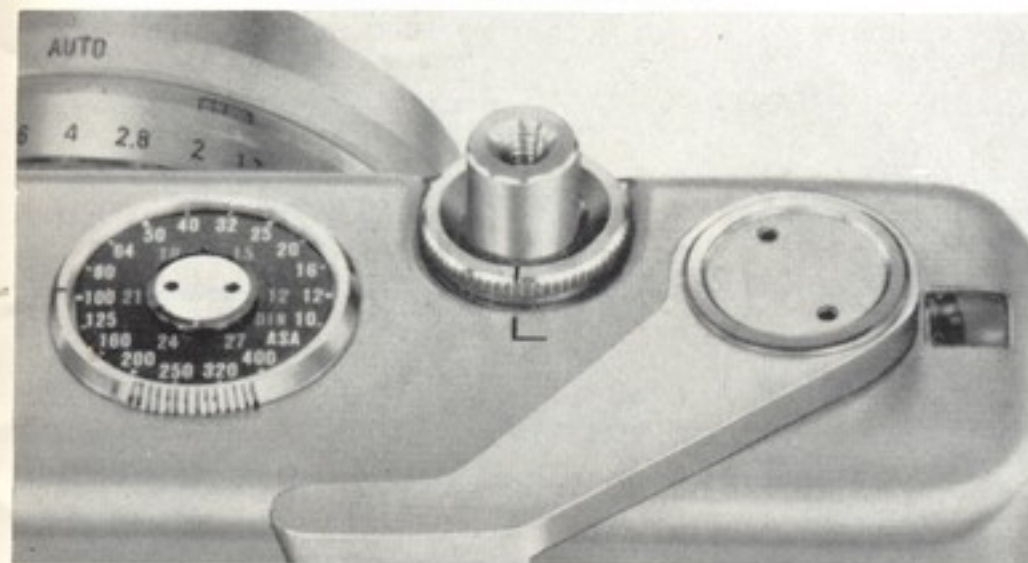
《B (バルブ) の使い方》

オートリングにあるBとは、バルブという意味で、シャッターボタンを押している間だけシャッターが開いているのです。このため、暗いところでの長時間露出・花火撮影に利用します。



《レリーズを使用するとき》

手持撮影が不可能の場合か、B (バルブ) を使うときは、三脚か適当な台を利用してください。このときは、ケーブルレリーズを、シャッターの穴にネジ込んで併用してください。



シャッターボタンのところにロックリングがついていますから、撮影をしないとき・カメラを保存しておくときは、必ずLに合わせてロックにしておいてください。



シャッターがロックされた状態

★使用しないときは電池の消費を防ぐためにもロックしておきましょう。



シャッターが切れる状態



楽な姿勢で構え、眼はファインダー接眼窓の中央に正しく当てがいます。縦位置のときには、各人の最も安定した、持ちやすい姿勢で撮影するのがよいでしょう。

セルフタイマーで2人の写真を



1 レンズ鏡胴部の上にあるセルフタイマーレバーを矢印方向にセットします。

2 シャッターボタンを押せば、セルフタイマーが作動し、7～8秒後に自動的にシャッターが切れます。

セルフタイマーを使うときは、三脚か適当な台を利用して撮影しましょう。

《注意》フィルム巻上げレバーを巻き、シャッターをセットしておかないと、セルフタイマーは作動しません。



絞りF1.7

絞りF16

写真には、ある距離にピントを合わせたとき、その距離にあるものが鮮明に写るだけでなく、その前後にも実用上鮮明に写る範囲があります。これを被写界深度といいます。

上の写真はこの関係を示す作例で、左側はレンズを開放の状態（F1.7）にしたときであり、右側は小絞り（F16）にしたときのもので、ごらんのように小絞りの方が被写界深度が深いのです。



また、被写界深度はレンズ鏡筒の被写界深度目盛によっても見られます。この目盛の読み方は、例えば2メートルの距離に被写体があり、絞りがF16なら赤指標の両側の16の数字と対応する距離約1.4～5メートルまでピントが合うことが示されるのです。

フラッシュ撮影もできます



電気シャッターですから、長時間露出が可能です。暗いところで動体撮影をするときなど、必要におおじてはフラッシュを使用してください。

フラッシュガンアクセサリーシューに差し込みます。カメラのフラッシュターミナルに、ストロボ・フラッシュガン等のコードのプラグを差し込みます。



最初に、オートリングを回して、 M 印を▼印に合わせます。これによって自動的にシャッター速度が $\frac{1}{30}$ 秒にセットされます。

X接点で、シャッター速度が $\frac{1}{30}$ 秒にセットされているため、ストロボ・閃光電球のどちらでも使用できます。



★フラッシュ撮影での適正な絞りの決め方

◎まず、目測で写すものの距離を測り、その距離で閃光電球のガイドナンバーを割った数がそのときの適正な絞りです。絞りリングを回して同じ絞り数に合わせます。

◎距離は、カメラの距離目盛に合わせてください。

《水銀電池とカメラの使用方法について》

◎水銀電池は、シャッター作動と露出表示の2つの働きをするための電源です。

◎水銀電池の有効期限は、シールに表示されています。

〈参考例〉

カ メ ラ の 使 い 方	水 銀 電 池 の 寿 命
普 通 の 使 い 方	約 1 年 半
特 殊 な 使 い 方 (連続ロングタイム(30秒)撮影など)	延露光時間 約2時間
巻上げレバーを巻上げた後、シャッターロックを忘れて、何かでシャッターボタンを途中まで押しっぱなしにした場合など。	使い方により各々異なりますが、左記の場合は短時間で消耗してしまいます。

☞カメラを保管するときは、必ずシャッターを切ってから保管してください。

☞カメラの取扱い方が正しいければ、電池を最も有効に使うことができます。不自然に電池の消耗が多い場合は、取扱い上にミスがあると考え諸事項につき確認してください。

☞長期の旅行の際などは予備の電池を用意されるようにおすすめします。

☞長期間、カメラを使用しないときは、必ず水銀電池を取りだして保存してください。

☞海外で使用できる水銀電池 マロリーTR164 5.6V エバレディE164 5.6V

◎専用フード

雪景、真夏の海岸などの反射の多いところでは、フードを使用した方が効果的です。

(カブセ57mm) ¥ 800



◎ヤシカ専用フィルター

(ネジ込み55mm)

黑白用 (UV・Y₂) ¥1,000

カラー用(1A・82A) ¥1,150

ND₄ ¥1,000



◎ヤシカライトAG-D

コードレスタイプのフラッシュガンです。また、前蓋をはずしてコードを取りだせば、普通のフラッシュガンにもなります。(バルブAG専用)

¥ 1,400



カメラは大切にしましょう

◎レンズは、ハンカチのようなものでふかずにレンズブラシで軽くはらってください。

◎カメラの狂う最大の原因はショックです。乱暴にあつかったり高い湿気や高熱にさらすことのないよう注意してください。

エレクトロ35

現金正価 ¥ 21,400

定価 ¥ 24,400 ケース ¥ 1,800

☆修理のときは右記へお送りください ヤシカ諏訪工場 長野県諏訪郡下諏訪町3170 6712H10Y16 30

- ① 株式会社 **ヤシカ** 東京都渋谷区神宮前6-27-8 TEL (400) 1411
- ヤシカ商事株式会社 東京都渋谷区神宮前6-27-8 TEL (400) 1411
- 大阪営業所 大阪市西区北堀江通1-46 山田ビル TEL (531) 6043
- 名古屋営業所 名古屋市中区錦町3丁目8番地24号 TEL (961) 0656
- 福岡営業所 福岡市須崎町3の5 竹和ビル TEL (28) 5749
- 札幌営業所 札幌市北三条西2丁目1番地 TEL (24) 5866
- 仙台営業所 仙台市大町1の92 TEL (22) 7528
- 広島営業所 広島市大手町3丁目6-19 TEL (41) 3506
- 横浜営業所 横浜市中区蓬来町2-53 平和不動産ビル TEL (261) 3334